

# 飯伊地区 産業経済動向

No.512 2021/11  
(3.12.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK  
飯田信用金庫  
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp  
〒395-0044 飯田市本町1-2  
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

## 飯伊地区主要経済指標

主要指標	実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,511 枚	22.1 %	△ 6.6 %	2.4 %
	金額	3,039,284 千円	19.0 %	△ 12.7 %	6.3 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)	(前々年同月 1 枚)
	金額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)	(前々年同月 257 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上) (10月)	県内	10 件	(前月 4 件)	(前年同月 7 件)	(前々年同月 6 件)
	飯伊	1 件	(前月 1 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 0 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (10月)		74 戸	△ 5.1 %	△ 14.9 %	42.3 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (10月)		1.50 倍	(前月 1.38 倍)	(前年同月 1.03 倍)	(前々年同月 1.38 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,978 台	21.4 %	△ 9.0 %	△ 5.8 %
	中古車	693 台	△ 5.1 %	1.9 %	6.3 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (10月)	新車	3,013 台	0.8 %	△ 28.9 %	△ 7.5 %
	中古車	998 台	1.5 %	8.2 %	12.1 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	101,272 台	3.5 %	△ 3.6 %	△ 16.6 %
	出	100,949 台	3.3 %	△ 3.6 %	△ 17.2 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	70,477 台	8.7 %	△ 13.9 %	△ 22.4 %
	出	70,367 台	8.7 %	△ 14.5 %	△ 21.2 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	19,867 台	5.6 %	6.4 %	△ 4.3 %
	出	19,894 台	4.6 %	8.7 %	△ 3.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	49,470 台	3.9 %	4.7 %	△ 5.6 %
	出	49,825 台	3.8 %	2.5 %	△ 6.3 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	33,392 台	2.0 %	- %	- %
	出	32,906 台	3.3 %	- %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		105 件	△ 11.8 %	△ 48.3 %	△ 28.1 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0 件	(前月 2 件)	(前年同月 2 件)	(前々年同月 7 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	12,979 人	26.0 %	77.8 %	△ 53.2 %
	飯田～名古屋	10,125 人	24.5 %	36.0 %	△ 45.1 %
	飯田～長野	3,905 人	△ 0.4 %	3.3 %	△ 56.0 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	7,208 人	5.0 %	75.8 %	△ 67.2 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,864 人	△ 1.2 %	6.1 %	△ 22.2 %
	右回り	2,691 人	△ 7.8 %	2.0 %	△ 20.7 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を  
使用しています

## 地区内製造業の景況判断指数

### 概況 景況DIはやや上昇も、翌月予測はマイナスに

当月の製造業の業況判断指数（DI）プラス25.9で、前月から9.2ポイント上昇。翌月予測はマイナス3.7で、前月から14.0ポイント低下。当月では経済活動の回復を少しずつ感じるとの声が増え、設備投資を検討するとの声も増えてきている。一方、先行きに関しては部材不足による影響等で、年明け頃の減速を見込む声も多く聞かれた。この減速が継続するのか、一過性なもので終わるのか、今後の動向を注視したい。

#### 主な業種の動き

##### ●電気・精密・光学

- ✓景況感…横ばい～やや好転。ただ先行きは悪化を見込む声も。販売は前月比増加の声が多いが、受注は前月比横ばいが多い。
- ✓販売価格…原材料価格の上昇が続く中、やや上昇との声も一部に聞かれるが、横ばいとの声が多い。

#### [企業からのコメント]

- ・販売状況は継続して好調であるが、この先の状況においては不透明感が出てきている。
- ・「半導体の調達に難しく、受注にも影響が出てきている」「ワールドワイドで鋼材・樹脂材・電子部品等の入手が困難になってきており、客先での生産に影響が出てくる可能性が高くなってきている」
- ・原材料の単価は上昇しているが売価には簡単に反映できず、しばらくの間製品単価は変動しない。

##### ●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ✓景況感…概ね横ばい。販売は引き続き高水準を維持している様子だが、年明けはやや減速を見込む声も。
- ✓原材料価格…上昇が続いており、先行きも上昇との声が強。ただ、年明けにはやや落ち着いたとの声も。

#### [企業からのコメント]

- ・「半導体の供給ひっ迫は拍車がかかっており、製造装置の需要は日に日に増している」「社内キャパを超える水準の受注量がある。外注化等による施策を講じ、販売高は高水準」「半導体関連は来年3月頃まで現状維持、その後は増産に転じる見通し」
- ・半導体および部品、材料の欠品により、今までの勢いが減速傾向となる模様。半導体不足は継続しており、準備しながら将来の種まきに注力する期間にしたい。
- ・「人員は慢性的に不足、継続募集とハローワークを通じて県外へも募集」「今後、若干名増員を予定」

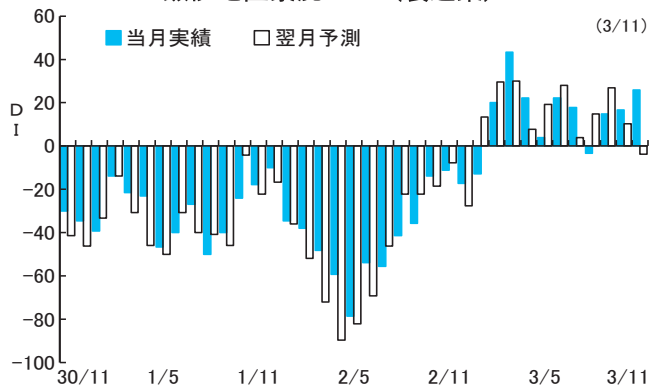
##### ●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ✓景況感…足元では好転との声が多いが、先行きは悪化を見込む声が多い。販売では前月比減少との声が増した。
- ✓販売価格…やや上昇との声も聞かれるが、横ばいとの声が多い。

#### [企業からのコメント]

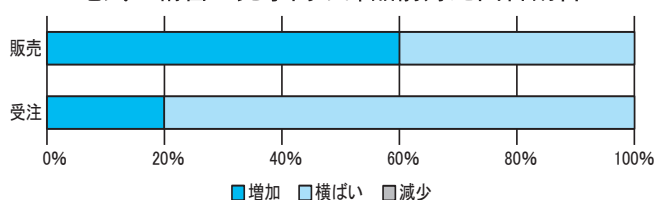
- ・「来年1月が谷間になりそうとの声も出てきている」「医療機器関連では組立工程において部品不足のため、減産となっている」「材料屋でも、注文が多少減少しているとの声」「産業用機械関連では、肌感覚だが減産方向に潮目が変わりそうな感じ」
- ・樹脂部品や電子部品の争奪戦となっている。この状況が長期化するようだと調達調整が入る恐れも。
- ・各社在庫を持たないため、特急品の対応に苦慮した。

飯伊地区景況DI（製造業）

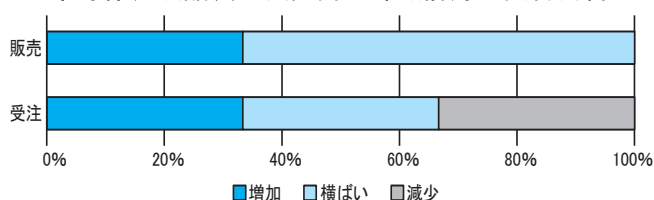


（資料：新建新聞入札結果欄より抜粋）

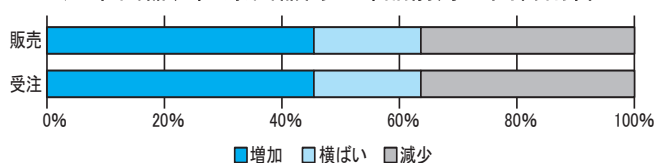
電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



## ●半生菓子、菓子原料等

売 上……前月比は業者により増減分かれる。景況感は概ね横ばいで、先行きも大きな変化はない見通しという。

原材料価格…前月比やや上昇。ただ、販売価格では大きな変動はないという。

### [企業からのコメント]

- コンビニ向けおよび小物の増加により売上増。ただスーパー向けについては対前年比で良くない。
- 「いろいろと値上がりする物が多すぎる」「副原材料が値上げ」

## ●水引製品

売 上……前月比は業者により増減分かれる。景況感は好転したとの声は聞かれない。

原材料価格…前月比やや上昇との声が聞かれ、次月以降でも上昇を見込むとの声も。

### [企業からのコメント]

- 「昨年に比べると売上は徐々に回復しているように感じる。需要の状況がコロナ前に戻りつつあるようで、今後に期待」「年末に向けて繁忙期であり、各社忙しい様子である。一部の会社では、入荷が遅れた品の加工が間に合わない状況とのこと」「10月に入荷しなかった輸入物が、11月にずれ込んだ」
- 正月用品は例年通りの販売ができたが、短期の納品が増えて大変だった。忙しい割には売上が伸びず、明日を見据えてアイデアを考慮中。
- ECへの動向が強まってきているのを感じる。来期はさらにECへの投資を行い、消費者を惹きつける努力をしたい。
- 有為転変の世の中で、コロナ禍前の儀式を復活させるのは困難と感じる。現時点では、販売価格を上げて対処するしかない。
- 「今後、年間パート従業員を数名増員予定」「勤めへ出るため内職を辞める人が出ており、内職者募集を検討中」

## ●漬物

売 上…前月比、前年比ともにやや減少。

### [企業からのコメント]

- 製品の製造に関わる諸物資の値上げ要請が多くなっている。
- 物資の値上げ要請は非常に多いが、食品はなお「デフレ」の方向に進んでしまうのではないかと危惧している。

## ●上記以外の製造業

建築用金属製品…販売は前月比、前年比ともに減少。次月以降の販売はやや増加を見込むという。

自動車向け部品…販売は業者により増減分かれる。人員不足が課題との声が聞かれた。

印刷、出版関連…販売は前月比、前年比とも増加という。景況感もやや好転。

服飾製造……販売は前月比、前年比ともに減少。次月以降はやや改善を見込むという。

### [企業からのコメント]

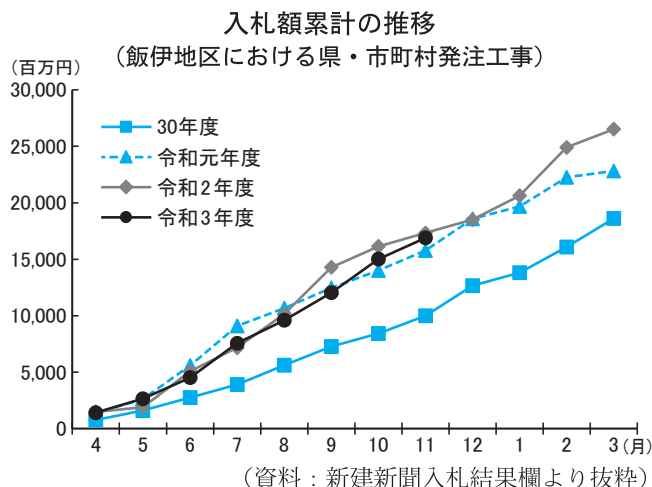
- 例年この時期は多忙であるが、今期は良くない。しかし、少しずつ引き合いは増加している。東京、中京圏における営業活動の成果が出始めている。
- 「集客目的のチラシ印刷は低迷状態が続いている」「年賀状に関して、来年からは控える旨の文面を入れてとの注文も増えてきている。LINE年賀状などの普及で、ますます若者が離れてしまう」
- 服飾関連では相変わらず消費が低迷している。コロナの落ち着きとともに多少売上は伸びているが、所得が増えていない分、高額商品には手が出せない。
- 海外生産品が原料高、物流経費増大、納期遅延等で嫌厭されており、国内生産回帰の動きが加速しそうである。そのため3月までの生産ラインは一杯だが、人手が足りず売上の確保は難しい見通し。
- 「人員不足が今後の課題であり、中央との賃金格差が大きいことが問題」「求人に対して選考中」「今後中途採用、新卒採用を予定」「人員不足、今後新卒を採用する方向」

# 建設業

## 官公需

概況 11月の公共工事入札金額は、前月比減少、前年比では増加。  
入札金額は堅調も、資材高騰による影響は続く

- ☑公共工事入札額…当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約18.7億円。前月比37%減少、前年比では58%増加。(12月23日調査時点)
- ☑受注残高……業者により増減は分かれる。年度末に向けて進捗が進み、先行きは減少見込みとの声が多い。
- ☑景況感……概ね横ばいとの声が多数だが、先行きについてはやや好転を見込むとの声が複数聞かれた。
- ☑雇用……ほとんどの事業者で上昇傾向が続く。材料、燃料等の高騰で、利益確保に苦勞との声も聞かれた。



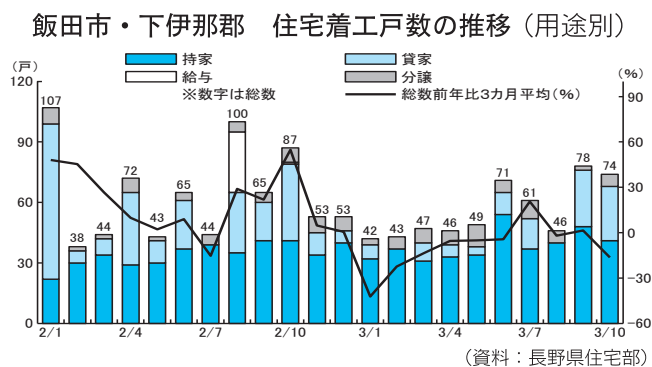
### [企業からのコメント]

- ・「リニア関連工事、三遠南信自動車道の道路工事、河川や山間部での防災・減災工事、災害復旧工事など、例年を上回る工事で忙しい」「今後補正予算による公共事業の発注が始まる予定だが、災害発注の工事施行中において技術者、技能者不足で対応はどうなるのか心配」「災害関連工事が少ないが、手持ち工事は確保できている」
- ・「高齢化により、今後の人員が不安」「施工職員不足」「土木、建築技術者、営業職を募集」
- ・積極的に受注する事業者もあれば、後継者に不安を感じている事業者もある。

## 民需

概況 令和3年10月の住宅着工戸数は74戸で前月比5%減少、新築住宅の需要は底堅い動きも、大型工事は少ない様子

- ☑住宅着工戸数…当地区の10月の住宅着工戸数は74戸。前月比5%減、前年比でも15%減少。
- ☑景況感……やや悪化～横ばい。受注残高は前月比減少との声が多い。新築住宅はまずまずも、リフォームなどの小規模案件が多く大型工事は少ないとの声。
- ☑原材料価格……全ての事業者で上昇との回答。加えて、資材不足が工事減に影響しているとの指摘も。



### [企業からのコメント]

- ・「大きな建築工事は受注業者が偏っているが、営業力の差だと感じる」「住宅改修工事のみ」「営業手段がよりOA化してきていて、営業の活動が実働の会社にとっては受注減の要素となっている」
- ・「新築住宅はまずまずだが、一般工事や公共の建築工事がほとんどない。先の見通しも暗い」
- ・「資材不足もあり、工事が伸び悩んでいる」「いろいろな資材の納期が間に合わなかったり値上がりしたりで、工事単価も上がる」「運輸費用が値上がり。また燃料も高騰が続いている」

## 建設資材等

概況 11月の生コン、骨材の売上は前月比、前年比ともに増加

- ☑生コン…売上の前月比はやや増加～増加。前年比も、全ての業者で増加という。
- ☑骨材…売上は、前月比、前年比とも増加との声。先行きもやや増加を見込むという。

### [企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、工場・マンション新築工事、護岸・床固工事、治山工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の7%弱。
- ・セメントから始まり、骨材、混和剤にも値上げの話がきている。生コン単価についても大きな見直しをしなければいけない。
- ・リニア関連の工事が始まってきて、骨材の出荷が増えた。

## 商業・サービス業

概況 景況感は好転も、先行きには不透明感。新変異株の影響も不安材料

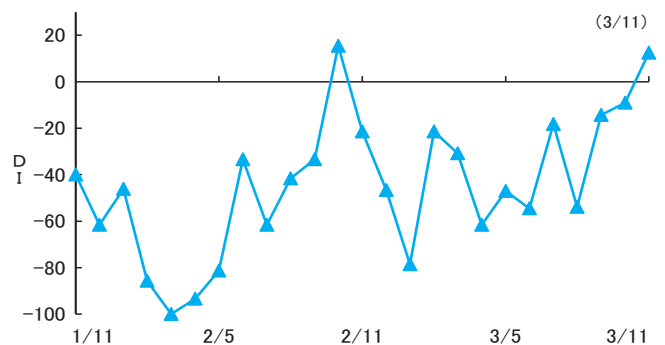
当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）は、プラス12.5で、前月から21.6ポイント上昇。

コロナの落ち着いたにより景況感はず年10月以来のプラスに転じたものの、新変異株の影響を懸念してか、先行きには慎重な声が多く聞かれた。

世界的な半導体不足や、燃料高騰による仕入単価上昇による影響は続いており、製造業と同様に燃料の上昇を販売価格には転嫁できないとの声も。

また年末の繁忙期を控え、人員不足を指摘する声が宿泊・運輸業を中心に寄せられた。

商業・サービスDI



### 主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比ではやや減少、前年比も減少との声

☑売上……前月比では減少との声が多い。先行きについては概ね横ばいを見込む声が多い。

☑販売単価…やや上昇との声が複数聞かれた。

#### [企業からのコメント]

- ・現状、特に大きな変化はなく、例年並みに推移。コロナも地元では特に出ておらず、影響は少ない。
- ・11月からの飯田市プレミアム商品券に期待。

●卸売業 概況 景況感は概ね横ばい、売上は取扱商品により分かれる

☑売上…前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。青果の販売はやや減少、菓子の販売は概ね横ばいとの声。OA機器関連では半導体不足の影響が続き、欠品となる商品が増えそうとの声も。

#### [企業からのコメント]

- ・野菜の価格は品薄の玉葱と馬鈴薯を除き安値傾向。昨年はここ3年で最も低価格だったため、前年比では価格高だが、低価格は今後も続きそう。果実は、主力のフジ（りんご）が全国的に春先の遅霜の影響で、品質の良い物が少なく価格面で前年比大幅高。豊作だった柿は安く、みかんも味よくほぼ前年並みの価格。果実全体では入荷量やや減、価格は高く、売上に貢献。
- ・市田柿は遅れ気味ではあるが、量的には期待できる見込み。
- ・「半導体不足の影響が深刻になってきた。ICチップを使用する事務機器の品不足に加え、消耗品の一部にも欠品が出てくる見込み」「世界的な半導体不足、生産国のコロナ禍による工場閉鎖等の影響により、商品の生産量減少、金属ベース価格増という苦しい状況になっている」
- ・「各メーカーとも、来年以降値上げが続く」「来年から数10%値上げという話や、通常納期とはかけ離れたような内容も聞こえてくる」「値上げ分を販売価格には転嫁しきれない」「在庫確保に係る資金増加や、価格転嫁の難しさなど課題は多いが、需要が落ちているわけではないため、市場の流れを注視して取り組みたい」
- ・先々月～先月と売上は厳しい状況が続いてきて、今月は前年並み。年末頑張っていきたい。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 宿泊業を中心に景況感好転も、先行きには不透明感

☑売上…売上は前月比、前年比ともに増加との声が多いが、コロナ前の水準には戻っていないとの声も聞かれた。宿泊業ではGoToキャンペーン再開を期待する声の一方、新変異株の感染拡大懸念により今後の動きが難しいとの声も。

#### [企業からのコメント]

- ・「宴会や法事関係の利用が多くなった」「地区の組合の宴会が戻ってきた」
- ・「オミクロン株の国内感染状況など、不安材料は払拭できない」「年末に近づいての宴会がどうなるか心配。予約は入ってくる気はするが、オミクロン株が心配」「GoToキャンペーンの再開を望むが、先行き不明の状況で先の手が打てないのが現状」「他県からの観光客需要に上向き感はなく、年末にかけての繁忙期、まとまった人数での忘年会等の自粛がどれだけ影響するか。以前のような活発な行動が戻ってくるか心配」「オミクロン株の今後次第」
- ・「昨年はGoToキャンペーン中であり、この時期はそこそこ賑わっていたが、今年はまだ再開されていないため前年比で売上減少」「新年早々にはGoToキャンペーンも再開の見込みで、期待している」「ヘブンスのナイトツアーも以前よりは少なくなったとはいえ、現状ではやはりナンバーワンの集客となっている」「忘新年会がほとんどなくなり、宣伝不足なのではと感じている。生活様式の変化もあると思うが、実際のところ宣伝して良いのかどうか迷いもある」「仲居さんの不足が深刻化している。今後は短期学生バイトの採用も検討する」
- ・地域の足としてのタクシー、公共交通の空白地にならないために、各事業者が今後どのように経営を続けていくか。各事業者間の垣根を取り払って、地域の公共交通を継続できる方向に向かって何をすることが重要。

## リニア中央新幹線、山梨県内・神奈川県駅地域の現況

コロナ禍が一段落しつつあった12月初頭、山梨県を訪問し予てよりリニア沿線地域金庫交流を重ねている甲府信用金庫、山梨信用金庫（共に本店：甲府市）と情報交換を行うことができました。今回はその概要を紹介します。

### 1. 甲府市内のリニア中央新幹線の状況

リニア山梨県駅は、長崎山梨県知事が駅位置の見直しを表明し、検討会議が設置されて検討が行われましたが、結局当初の位置ということで決着しています。その中で二次交通として、JR身延線小井川駅との間をシャトルバスで繋ぐ構想が出ていますが、JR甲府駅や甲府市中心部とリニア山梨県駅との接続については、引き続き検討中の模様です。

山梨県駅周辺整備は、駅北が中央自動車道の新規設置スマートICを中心とした交通結節機能が中心、駅南が賑わいや商・工・サービスの振興に資する施設と概ね区分されていますが、駅南の開発を巡り山梨県と甲府市との調整が行われているとのことで、山梨県駅設置の地元への説明会などはまだ始まっておらず、持参して贈呈した「飯田・リニア駅前空間デザインノート」を見て、「長野県駅は大分進んでいる」との感想をいただきました。

甲府市近辺においてリニア関連工事で目に付くのは、中央自動車道甲府南ICの先、境川PA（上り）に隣接して設置が進む境川PA高架橋の橋脚設置の工事ヤードです。リニア新幹線が山梨実験線方面からトンネルを抜けて地上部となって最初に中央自動車道を跨ぐ高架橋の橋脚設置のための準備工事が始まっていました。山梨県内の甲府盆地を中心とする<sup>くになか</sup>国中は、地上部が約17kmと長く、山梨県内はここから山梨県駅を経て釜無川の先まで、いくつもの河川と中央自動車道等道路を跨ぐ橋梁・高架橋の設置工事がこれから取り組まれていくことになります。

また、新山梨環状道路東端の先線として中央自動車道を跨ぐ工事も進められており、道路整備が進められていました（以上右概略図参照）。

### 2. 注目される中部横断道の開通

本年8月、中部横断道の双葉JCT～静岡県新清水JCT間が全通しました。中部横断道全通による物流、観光関連などへの期待が高まっていると言われていますが、甲府地域ではまだ目に見えた動きは少ないということです。

「長野県東信地域の経済団体等からの接触があるなど、広範囲からの期待が寄せられていることを実感。現状では双葉JCTから先の区間で事業化決定されていない部分があるが」との話も聞きました。

リニア新幹線に対する縦軸として、当地域では三遠南信道の役割に対する期待が寄せられていますが、先行して全通した中部横断道の当該地域へのこれからの影響・効果について見守っていきます。

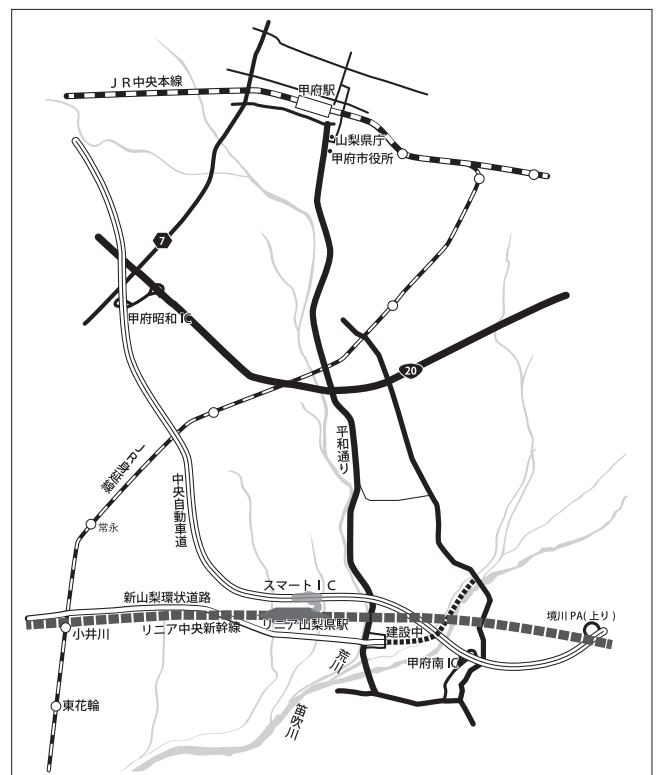


リニア山梨県駅予定地（甲府市大津町）  
前方の高台は中央自動車道



中央自動車道境川PA（上り）に隣接して  
設置されている中央道高架橋橋脚設置工事ヤード

甲府市周辺概略図



### 3. 駅設置工事が進むリニア神奈川県駅予定地

リニア神奈川県駅予定地を続いて訪問しました。相模原市緑区の橋本地区、JR横浜線・相模線、京王電鉄橋本駅前の区域です。隣接する商業施設の屋上から工事ヤードの一部を望むことができます。リニア本線予定線とみられる箇所は既にかなりの深さまで開削されていることが判りました。工事ヤードの外側フェンス（右写真）に沿って1周しましたがたいへんな広さ（南口地区（重点地区）で約16ha）です。



開削工事が進められるリニア神奈川県駅予定地  
(相模原市緑区橋本地区)

開削工事ですので、工事完了後は埋め戻されて広大な空間が出現します。相模原市は「橋本駅周辺地区駅前空間計画」により、駅前空間を「交通ターミナル機能強化」「駅とまちを結ぶ歩行者空間」「顔に相応しい駅前空間」の3つのコンセプトを基に、「交通結節」「回遊」「交流」「環境」「防災」の機能をここに配置する計画です。



また、市は「橋本地区市街地周辺計画」により整備を進めています。計画は、リニア開業（令和9年）を目途として、それまでを短期・中期、それ以降を長期とし、短・中期では駅前広場と駅前と国道16号や相模原など各方面と結ぶアクセス道路、駅北や周辺交通機能とを結んで回遊性を高める道路の整備を進めます。リニア開通以降の長期では、民間主導によるまちづくりを促しながら市街地拡大を図る、市街地拡大に際して必要となる道路核などの整備を進める、という内容です。市としては、現状駅周辺市街地が形成され都市基盤が一定程度整備されていることから、必要な街区道路の整備を真っ先に取り組み、段階的な都市機能拡充を進める計画です。（右下イメージ図参照）

「短期」、「中期」、「長期」のまちづくり地区のイメージ

### 4. リニア駅設置に伴う神奈川県駅予定地周辺の劇的変化

橋本駅近くに店舗を構える山梨信用金庫橋本支店を訪ね、担当者から、最近の状況を伺いました。

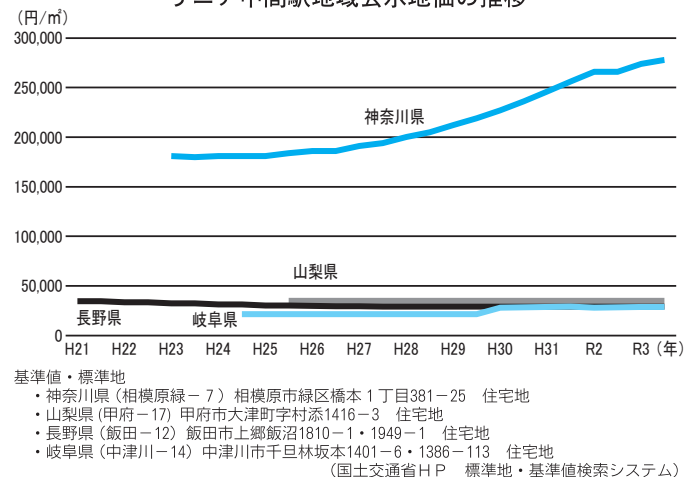
同店によると、リニア駅建設が進みだしてから、周辺は急速に地価が上昇。リニア移転対象者のちょっとした土地建物が億円単位。補償金の買換え特例利用などで周辺の不動産需要が高まった。またリニア開通後の橋本駅地域への期待が高まっていることなどから、この辺の築20年のマンションが5,000万円とか、売り手市場となっていて価格が下がる気配がない。路線価等は全く参考にならない状態、とのことでした。



橋本駅周辺地区市街地整備計画（相模原市 HP）

右グラフは、リニア中間駅地域の公示地価の動きをまとめたものです。神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県の中間駅地域の公示地価の推移をみると、独り神奈川県駅地域のみ価格上昇が著しいことが判ります。神奈川県駅の橋本地区も前々から上昇基調にあった訳ではなく、リニア駅設置計画が具体的に進みだした平成25～26年頃から上昇に向かっており、明らかにリニアによる影響が大きいことが判ります。

リニア中間駅地域公示地価の推移



神奈川県駅以外の地点では、現状大幅な地価上昇は見られません。しかしながら当地域においても、ある時から大幅な地価上昇、ということも考えられなくもありません。地価上昇はこれからの街づくりに大きな影響を与えることから、手遅れとならない対応が必要ではないでしょうか。

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

# 2021年の飯伊地区各種統計から

## 長野県鉱工業生産指数

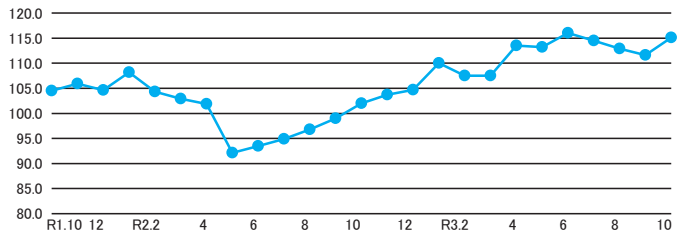
令和3年10月までの長野県鉱工業生産指数（季節調整済指数 H27=100）の推移をみると、令和3年は、年初から平成27年の水準を上回っている。

とはいえ、原指数の前年比でみると、6月を境に前年比のプラス幅が小さくなっており、生産活動の増勢が鈍化している。

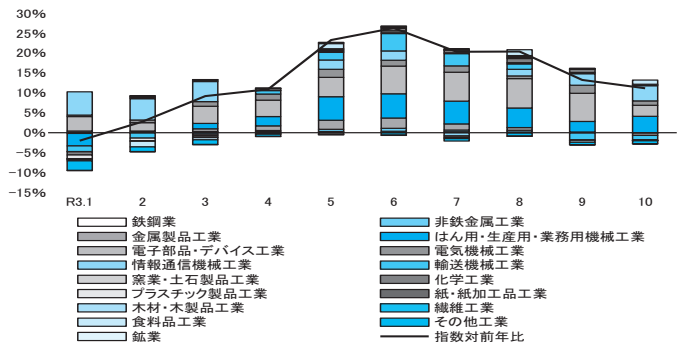
品目別に見ると、電子部品、デバイスや情報通信機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業など長野県の主力製造業種は、概ね前年を上回っているが、9月以降、輸送機械工業で前年比がマイナスとなっている。

（資料：長野県企画局情報政策課）

長野県鉱工業指数（季節調整済指数 H27=100）



長野県鉱工業生産指数 品目別寄与度（対前年比 原指数 H27=100）



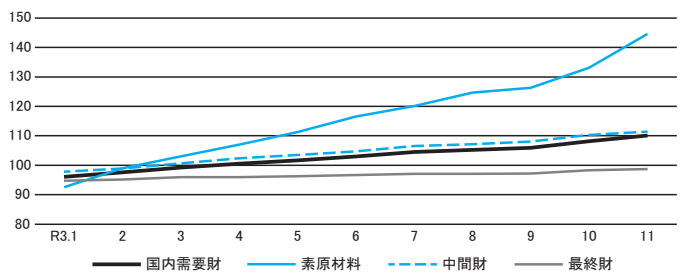
## 企業物価指数

企業物価指数の推移を見ると、国内需要財（国内品+輸入品）は、年初から徐々に上昇している。

需要段階別に国内需要財の指数の推移を見ると、年初は2015年の水準を下回っていた素原材料の指数が急速に上昇している。

（資料：日本銀行）

企業物価指数 需要段階・用途別指数の推移（2015年平均=100）



## 飯伊地区の県、市町村工事入札額

令和3年11月現在の、当地区における県、市町村を合わせた公共工事入札額の累計をみると、概ね令和元年、2年並みで推移している。

表にはないが、今年を含む過去3年間の県、市町村工事入札額の水準は、平成30年までに比べると増加している。

## 飯伊地区の住宅着工戸数

令和3年10月時点の住宅着工戸数の暦年累計は、持家387戸、貸家107戸、分譲63戸の、合計557戸。

因みに、令和2年10月時点の暦年累計は、持家338戸、貸家249戸、給与31戸、分譲47戸の合計665戸。令和元年は、持家344戸、貸家113戸、給与1戸、分譲88戸の、合計546戸。リニアに伴う住宅移転工事の影響もあってか、今年は持家の10月までの暦年着工戸数が、過去2年より増加している。

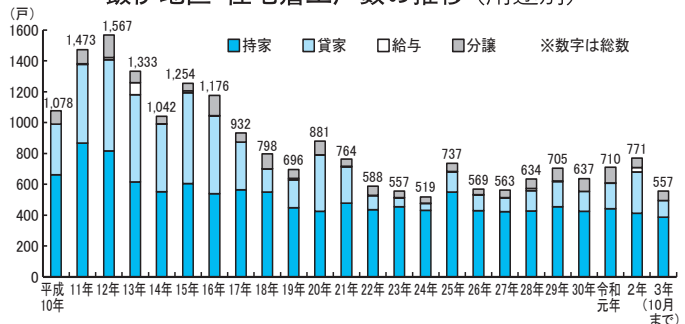
発注者別入札額の累計

（単位：百万円）

年度 月	県			飯 田 市			町 村 計			県、飯田市、町村計		
	R 1	R 2	R 3	R 1	R 2	R 3	R 1	R 2	R 3	R 1	R 2	R 3
4月	553	863	757	152	156	232	673	470	419	1,377	1,489	1,407
5月	1,149	896	1,248	259	237	563	1,195	764	837	2,603	1,897	2,647
6月	2,980	2,566	2,376	534	676	846	2,072	1,820	1,298	5,586	5,062	4,519
7月	4,361	3,534	3,975	1,540	1,235	1,413	3,188	2,394	2,172	9,089	7,162	7,560
8月	5,158	4,632	4,449	2,024	1,535	2,024	3,501	3,975	2,793	10,683	10,142	9,597
9月	5,709	8,026	5,634	2,654	1,823	2,632	4,091	4,437	3,771	12,454	14,287	12,036
10月	6,174	8,750	7,452	3,102	2,359	3,184	4,746	5,030	4,377	14,022	16,139	15,013
11月	7,226	9,013	7,918	3,416	2,662	3,502	5,126	5,655	5,468	15,768	17,330	16,888
12月	9,596	9,424	-	3,562	2,917	-	5,433	6,165	-	18,590	18,506	-
1月	10,386	11,020	-	3,717	3,111	-	5,567	6,493	-	19,669	20,625	-
2月	12,409	14,711	-	3,906	3,302	-	5,940	6,897	-	22,255	24,910	-
3月	12,890	15,800	-	3,978	3,622	-	5,966	7,103	-	22,834	26,525	-

（資料：新建新聞「入札情報」抜粋）

飯伊地区 住宅着工戸数の推移（用途別）



（資料：長野県住宅部）

## 自動車、軽自動車新規登録台数

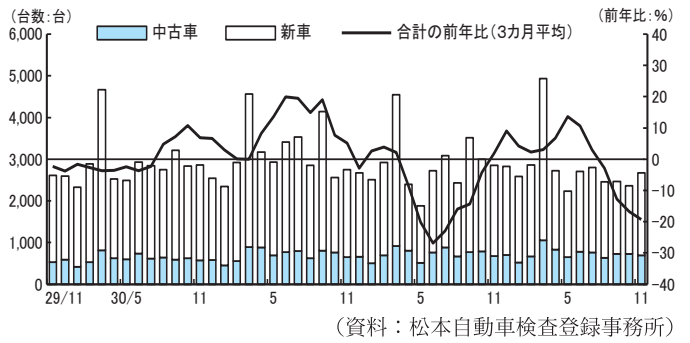
令和3年の新車と中古車を合わせた自動車新規登録台数(松本自動車検査登録事務所管内)の累計は、11月現在、新車が22,732台、中古車が8,049台の、合計30,781台。

新車、中古車とも6、7月あたりから登録台数が伸び悩み始め、特に新車の11月現在の年間累計は、前年同期比マイナス4.8%となっている。

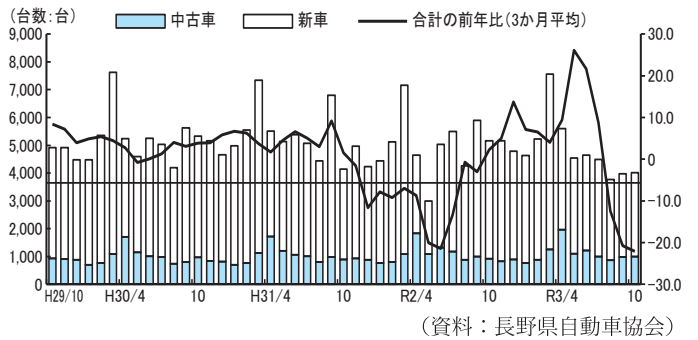
軽自動車でも、新車、中古車ともに6、7月辺りから登録台数が伸び悩み始め、10月までの年間累計の推移を見ると、新車は9月から前年を割り込んでいる。

軽自動車の10月現在の新車の累計登録台数は37,436台で、前年同期比マイナス4.8%。中古車では10月現在、累計登録台数11,026台、前年同期比プラス1.5%となっている。

## 自動車新規登録台数(松本自動車検査登録事務所管内)

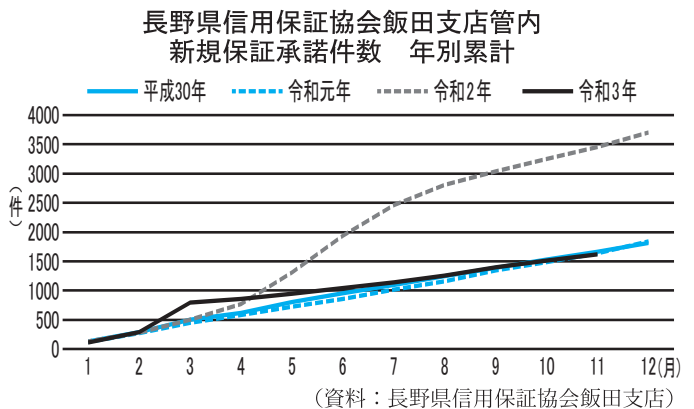


## 軽自動車新規登録台数(長野県合計)



## 信用保証協会新規保証承諾件数

令和3年の長野県信用保証協会飯田支店管内の新規保証承諾件数は、概ね例年並みに推移している。

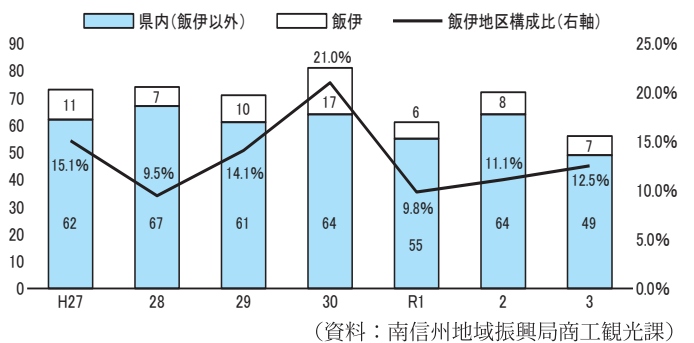


## 倒産件数(負債総額1,000万円以上)

令和3年10月までの飯伊地区の累計倒産件数は7件で、県全体の12.5%を占める。

各年10月までの累計倒産件数を見た場合、全県では過去に比べて倒産件数は抑えられているようにも思われる。

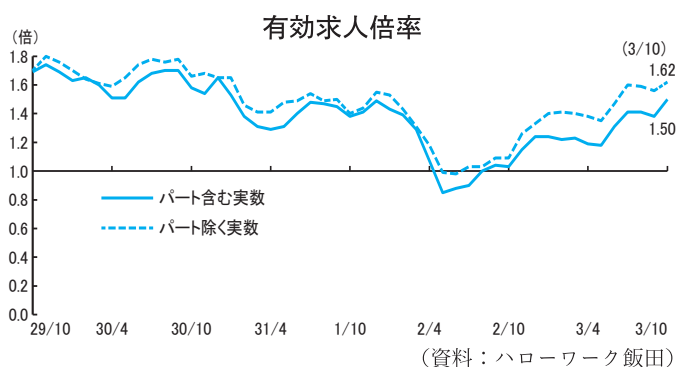
## 倒産件数(負債総額1,000万以上 各年10月現在)



## ハローワーク飯田管内 有効求人倍率

令和3年のハローワーク飯田管内の有効求人倍率は、1倍を上回って推移した。

グラフにないが、令和3年は、製造業の新規求人数が月を追うごとに増加している。

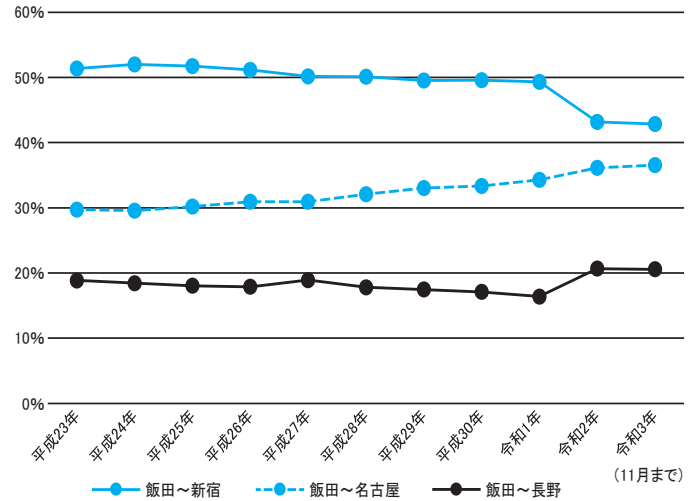


## 中央道高速バス 3 路線利用人数

令和3年の中央道高速バス3路線利用人数は、11月までの累計で、飯田～新宿線74,528人、飯田～名古屋線66,535人、飯田～長野線35,784人。令和元年同期比で、飯田～新宿線は25.1%、飯田～名古屋線32.0%、飯田～長野線35.6%。令和2年同期比で、飯田～新宿線は77.0%、飯田～名古屋線83.2%、飯田～長野線77.9%の水準となっている。

右は、中央道高速バス3路線の路線別シェアを見たもので、コロナ以後の2年間、飯田～新宿線のシェアの低下が見られる。(資料：信南交通㈱)

## 中央道高速バス 3 路線シェアの推移



## 中央道利用台数

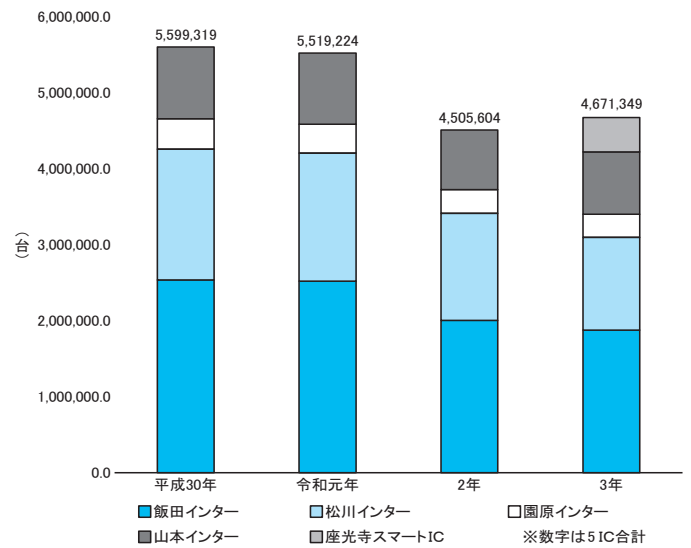
(飯伊地区 5 インターチェンジ 出入合計)

令和3年の飯伊地区5インターチェンジ利用台数は、11月までの累計で、飯田IC 1,878,670台、松川IC 1,217,561台、園原IC 305,719台、山本IC 818,746台、座光寺SIC 450,653台の合計 4,671,349台で、令和2年の同期比で3.7%増加している。

グラフにないが、座光寺SIC開通前の令和元年11月と、開通後の令和3年11月における各インターチェンジのシェアを比べると、飯田IC 42.6%→36.9%、松川IC 31.6%→25.7%、園原IC 7.3%→7.3%、山本IC 18.5%→18.1%、座光寺SIC 0%→12.1%となっており、飯田IC、松川ICの利用が座光寺SICに置き換わっている様子が見て取れる。

(資料：中日本高速道路㈱)

## 5 インターチェンジ利用台数 (出入計 各年11月までの累計)



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 中村 達)

## 飯伊地区全産業景況 D I の推移

### 飯伊地区景況 D I (本誌調査)

